

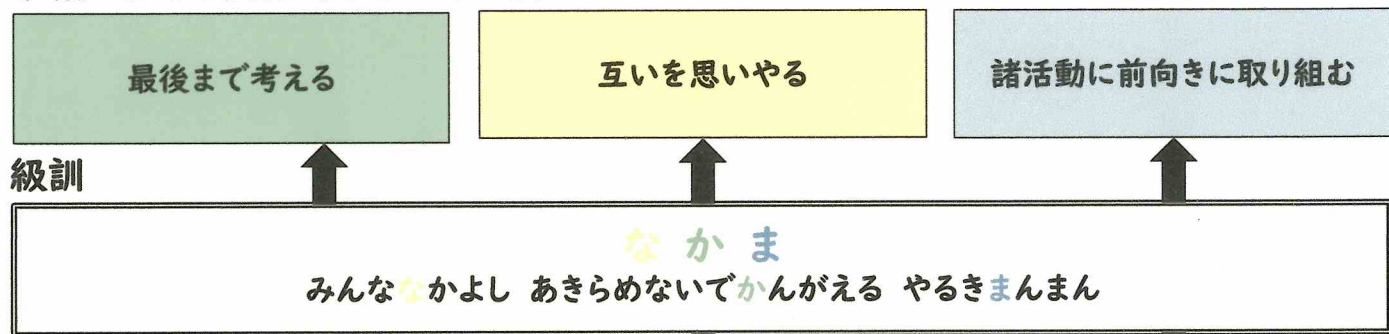
自分事としてとらえる
 思いを伝え合う

誰一人、排除しない
 誰かのために動ける

健康な心と体を育む
 社会に目を向け、つながる

令和5年度 めざす子どもの姿
考え、伝え合い、自分らしく輝く子ども

学級における具体的な子どもの姿



指導・支援の内容

○伝える楽しさ、聞いてもらう喜びを感じる授業づくり
 ・声のものさし、話し方・聞き方名人などの意識付けを図り、望ましい話し方や聞き方をしている児童を手本にしながら、そのよさが広がるようにする。

○めあてと振り返りを大切にす授業づくり
 ・何を学ぶのかを明確にして授業に参加し、何を学んだのかをメタ認知して授業を終えるルーティーンを身に付けさせる。

○本に親しむ子に
 ・毎朝1冊の絵本を読み聞かせする。

○書くことを苦しめない子に
 ・普段の授業で「書く」時間を意識的にとっていく。

○困り感を伝えられる子に
 ・分からないこと、困っていることがあることは恥ずかしいことではないことを伝え、サポートを待つのではなく自分から困っていることを発信できる子をめざす。

○指摘からサポートへ
 ・さりげなく友達をサポートしている姿をその場で認め、学級全体に広げていく。

○トラブルを財産に
 ・もめごとやトラブルを個別に指導するだけでなく、どのような行動が望ましいのかを学級全体で考えることをしながら、自他を大切にする子をめざす。

○元気のよいあいさつ・返事
 ・入学式での校長式辞を心に留めて、元気な声が響く学級にしたい。

○人のために頑張れる子に
 ・日直、当番や係の活動を通して、自分が人の役に立つことの喜びや充実感を得られるようにする。

○体を動かす
 ・外でたくさん体を動かして遊ぶことで、質の高い睡眠へとつなげていく。

○ひとつひとつの行事を成長の起爆剤に
 ・行事の目的を知り、目標をもって臨むことで個、学級全体として成長を実感させたい。